

Nougyou Nounou

## いしのまきNN通信



トヤケ森から望む石巻管内の風景

「いしのまきNN通信」は、石巻地域の農業農村整備事業に関連する活動等を広くお知らせすることを目的に、年3回程度発行しています。掲載希望の情報等がありましたら農村振興班までご一報ください。今後ともよろしく申し上げます。

## 石巻市 広渚沼地区農地整備事業 安全祈願祭



第26号の目次:

広渚沼地区安全祈願祭	1
豊作・復興祈願祭 ～石巻市大川地区～	2
豊作・復興祈願祭 ～東松島市大曲地区～	3
宮戸地域 営農再開実証プロジェクト	4
東部管内施工技術検討委員会 課題検討作業チーム会議	5
地域復興とともに歩む 担い手育成研修会	
鹿又地区安全祈願祭	6
西矢本地区安全祈願祭	
農地・水保全管理支払交付金 田んぼの学校	7
災害復旧支援の自治法派遣職員のみなさん	8



▲ 安全祈願祭の様子

奉奠，神酒拝戴を執り行い，関係者一同で工事の安全を祈願しました。

石巻市広渚沼地区は，平成22年度に事業採択となった後，東日本大震災による地盤沈下等の影響を受け，現地調査等を行ってきました。本年度から本格的な工事施工となり，平成25年度は59haで施工されます。平成26年度以降の施工を合わせ，698.3haで農地の区画整理・道路・用排水路等の工事が行われる予定です。

平成25年4月18日（木），石巻市広渚沼地区農地整備事業の本格的な着工にあたり安全祈願祭が開催され，市，河南矢本土地改良区，JA，地元関係者など，約100人の関係者の出席をもって執り行われました。

神事として祝詞奏上や四方祓の儀を行った後，石巻市長や河南矢本土地改良区理事長等により鎌，鍬，鋤を用いた鍬入れの儀が行われました。その後，玉串



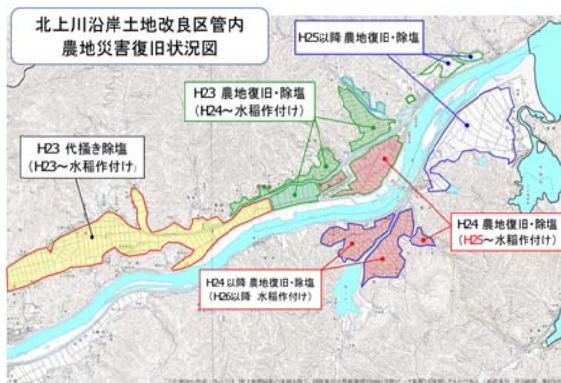
広渚沼地区 農地整備施工エリア



## 豊作・復興祈願祭～石巻市大川地区～

平成25年5月10日(金)、東日本大震災の津波により被災した石巻市大川地区内の水田において、平成25年度の営農再開となり、豊作及び農作業の事故防止とともに地域復興を祈願する「豊作・復興祈願祭」が北上川沿岸土地改良区の主催により行われ、地元選出議員、国、県、市等の関係者、地域農業者等約30名の関係者が出席しました。

震災後、新北上川左岸側の農地復旧工事が進み営農が再開されてきましたが、この度、新北上川右岸側の復旧工事に伴い大川地区針岡の一部区域、約13haで3年ぶりに営農を再開し、震災後初となる大川地区での田植えとして、地域復興を象徴する出来事の一つとなりました。



式典では、最初に神事が執り行われ、続いて関係者による玉串奉奠が行われました。北上川沿岸土地改良区の高橋理事長は、「待ちに待った大川での営農再開は、この上ない喜びである」と述べられ、石巻市亀山市長(代読：石巻市河北総合支所梶原所長)からは、「大川地域復興の新たな一歩であり、大川地区全域での農地復旧に向けた大きな前進」と挨拶がありました。

式典後、地元農家の高橋竹也さんにより、田植機に「豊作復興祈願」ののぼりを掲げての田植え作業が行われ、営農を再開する農地に「ひとめぼれ」が植えられました。

北上川沿岸土地改良区管内では、約1,155haの農地の内、約900haが浸水。平成23年度にがれきや土砂のない津波被害の農地(飯野川地区)で代かき除塩後に約200haで営農を再開し、昨年度は北上地区でも比較的堆積土砂の少ない長尾区域、女川区域等での復旧除塩工事が完了し、約110haで営農を再開。そして今年度、北上地区でも被害の大きい釜谷崎区域で約100haの農地復旧が完了し、営農を再開しました。今回大川地区針岡区域で営農再開した約13haと合わせ、北上川沿岸土地改良区管内全体での営農再開面積は約423haとなり、およそ47%の農地が営農を再開したことになります。

残る約477haの農地は、今年度以降順次復旧工事を進めていき、一日も早い営農再開を図ります。



神事の様子 ▶



▲ 田植えの様子

生育状況 H25.7.2 ▶



# 豊作・復興祈願祭～東松島市大曲～

平成25年5月20日(月)、東日本大震災の津波により被災した東松島市大曲地区内の水田において、3年ぶりの営農再開にあたり、豊作及び農作業の際の事故防止とともに地域復興を祈願する「豊作・復興祈願祭」が河南矢本土地改良区の主催により行われ、地元選出議員、国、県、市等の関係者、地域農業者等約40名の関係者が出席しました。

河南矢本土地改良区内の大曲地区においては、地震による地盤沈下や地区沿いを流れる2級河川定川の堤防が津波で決壊するなど142haもの農地が甚大な被害を受けました。そのような中、平成24年度は用排水路や農道の復旧・新設、農地に堆積した津波堆積物の撤去や農地復旧除塩等を実施し、31haの農地復旧を行い、今年度より営農が再開されました。

式典では、最初に神事が執り行われ、続いて関係者による玉串奉奠が行われました。河南矢本土地改良区の佐藤理事長は、「未だに深い傷跡が残っており、一日も早い復旧復興が望まれる」と述べられ、東松島市阿部市長からは、「142haのうちの31haだが、大きな前進である。27年度までに142ha全てで農地復旧を目指す」と挨拶がありました。

式典後、株式会社ぱるファーム大曲により、参加者の見守る中、営農を再開する農地で「進み続ける復興待ち望んだ復耕 その先に復幸あり」のスローガンを掲げた田植機での田植え作業が行われ、「ひとめぼれ」が植えられました。

河南矢本土地改良区管内全体の農地では、約5,000haのうち約990haが浸水しました。平成23年度に約190ha、24年度には約320haの営農を再開し、今年度作付けできるようになった農地は今回の大曲での営農再開を含め213haとなります。今年度までに営農を再開した農地は約723haとなりました。残る、特に被害の大きい海岸寄りの約267haの農地は、今年度以降順次復旧工事を進めていき、一日も早い営農再開を図ります。



◀ 神事の様子



▲ 田植えの様子



◀ 生育状況 H25.6.14

**復興また一歩 3年ぶり再開**

東松島

東日本大震災の津波で甚大な被害を受けた東松島市大曲地区で20日、震災後初めてとなる3年ぶりの田植えが始まった。作付けを再開したのは、国の復興交付金を活用し県が1区画約10ヘクタールと圃場整備し約10ヘクタールの142ヘクタールのうち、整備が終了した31ヘクタール、213ヘクタールの作付けを予定しており、15年度に全区域の復旧が完了する見込みで、今年度以降順次復旧工事を進めていき、一日も早い営農再開を図ります。

三浦吉郎社長(65)は「がれきの撤去に時間がかかったが、2年たつてようやく作付けにき着けられた。感無量」と話し、

東松島市大曲地区を管轄する河南矢本土地改良区では農地990ヘクタールが被災。2012年度までに510ヘクタールが作付けを再開し、被害の大きかった大曲地区は今年から一部で作付けが可能になった。13年度は213ヘクタール、14年度は267ヘクタールの作付けを予定しており、15年度に全区域の復旧が完了する見込みで、今年度以降順次復旧工事を進めていき、一日も早い営農再開を図ります。

復旧した農地で3年ぶりに始まった田植え

▲ 河北新報 H25.5.21

## 宮戸地域 営農再開実証プロジェクト

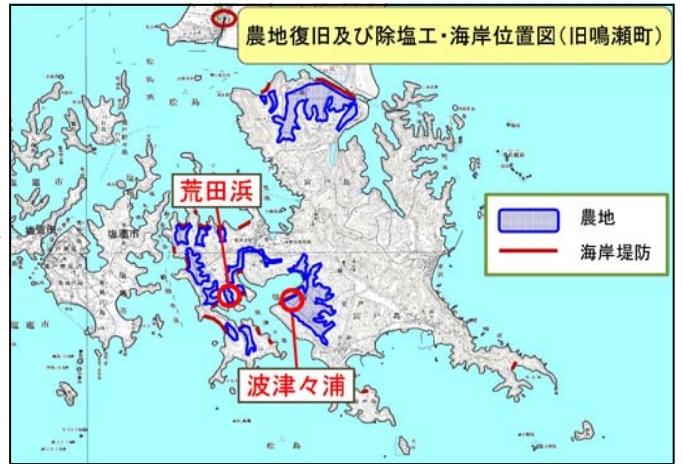
石巻管内津波浸水範囲概況図



平成25年6月4日(火)、東日本大震災の津波により被災した東松島市宮戸地域において、平成24年度に復旧・除塩工事を行った農地で作付けを行い、塩分濃度や排水状況、水稻や畑作物の生育状況等のデータをモニタリングする営農再開実証プロジェクトが行われました。

宮戸地域は、東日本大震災の津波によりほぼ全域で農地が浸水するという甚大な被害を受け、また地震の影響による地盤沈下によって海水の侵入も発生しています。そのような中、営農再開、早期の「見える」復旧・復興を掲げて、今回の営農再開実証プロジェクトが発足しました。

今回作付けが行われたのは宮戸地域の荒田浜、波津々浦の二カ所。荒田浜では水田を除塩回数別に3つに分け、水稻の作付けを行いました。作付けはJAいしのまき鳴瀬営農センターの北条センター長の手によって行われ、3年ぶりに使用した田植機が不調をきたすアクシデントもありましたが無事に作付けする事が出来ました。波津々浦では、除塩工事を数回行った畑にカボチャ、ネギ、キャベツの作付けが行われました。更に後日、大豆と綿花の作付けも行われ、水稻と畑作物の生育状況や品質、収量が塩分濃度や地下水水位等によってどう影響されるのか、データを集めます。今回のプロジェクトによってモニタリングされたデータは、来年度以降の営農に反映させていきます。



◀ 荒田浜での田植えの様子

波津々浦 ネギの作付け ▼



◀ 荒田浜 生育状況 H25.8.29

### 営農再開実証プロジェクト

**1 プロジェクトの背景**

- 東日本大震災の津波により、農地の洗塩、津波土砂堆積等被害が甚大
- 長期にわたる農地浸没、海水の浸水
- 地盤沈下による塩水の侵入
- 宮戸干拓用水路の廃工に伴うかんがい用水営農形態から耕作への転換

→ 営農再開へ早期の見える復旧・復興

**2 プロジェクトの目的**

- 1 プロジェクトサイトを選定し、H25に水稻・畑作物作付けを行い、モニタリングの実施による課題の抽出
- 2 海抜0m以下の地域(宮戸地区、洲崎地区等)における農地復旧・除塩工法の技術的知見の収集と他工区外、他工区への技術的応用
- 3 「目に見える復旧」による営農意欲、希望の復活
- 4 水稻、畑作物選定における基礎データ蓄積
- 5 地域営業者・JAに対して、塩害対策に対する排水コントロールとモニタリング技術の移転

**3 プロジェクトメンバー**

宮戸の農業を考える会

宮戸地域 営農再開実証プロジェクト

- ・東松島地方振興事務所農業農村整備部:佐々木、岩淵、佐藤、安藤、土屋、西家、水崎、藤原
- ・ 〃 農業振興部:阿部、巖野
- ・東北農林水産部 畜山課長、石巻副長、石巻副長
- ・鳴瀬土地改良区 課長、山崎専務、内藤正幸
- ・JAいしのまき鳴瀬営農センター 北条センター長
- ・地域営業者 星川農地復興組合 代表 桜井恒一、月川農地復興組合 代表 小野重美
- ・(株)日本総合地質 宮内代表取締役、太田保長
- ・塩工業者 奥田建設(株):丹野、横田

**4 プロジェクト概要**

<p>○プロジェクトサイト、鳴瀬25地区(9分区分)</p> <p>荒田浜</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・2A=0.9ha</li> <li>・水稲作付け A=0.1ha</li> </ul>	<p>○プロジェクトサイト、鳴瀬30地区(2分区分)</p> <p>波津々浦</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・2A=17.4ha</li> <li>・ネギ A=1.0a・カボチャA=3.0a</li> <li>・キャベツ A=3.0a</li> </ul>
---	--

○モニタリング

- ・地下水位、塩分濃度
- ・雨水排水状況、排水状況
- ・水稲、畑作物の生育、品質、収量等

○理論解析

- ・浸透流解析(FEM解析)
- ・塩分移流分散解析(差分法)

※モニタリング結果と理論解析値の検証

## 東部管内施工技術検討委員会 第4回課題検討作業チーム会議

平成25年6月24日（月）から25日（火）の2日間、東部管内でも被害の大きい大曲、北上及び大川地区の農地復旧の推進にあたり東部管内施工技術検討委員会 第4回課題検討作業チーム会議が開かれました。話し合われた内容は沿岸部農地の塩害抑制対策で、対策の1つである潮受水路について、農村工学研究所の石田上席研究員をお呼びして設計コンサルタントによる浸透流解析等の検討内容に対して指導・助言をいただきました。24日に石田上席研究員と東松島市洲崎地区、石巻市大川地区（針岡工区）、石巻市北上地区（釜谷崎工区）で現地調査を行った後、翌日25日に各地区の設計内容について協議を行いました。



▲洲崎地区



▲大川地区(針岡工区)



▲北上地区(釜谷崎工区)

## 地域農業の再生復興とともに歩む担い手育成研修会

平成25年7月24日（水）、東松島市コミュニティセンターで、「地域農業の再生復興とともに歩む担い手育成研修会」が開催されました。この研修会は、担い手組織等のスキルアップ等を進め、震災後の地域農業を支える担い手組織等の育成・確保を図り、若者があこがれる魅力ある産業としての農業の展開を目指すために東部地方振興事務所が開催したもので、農業者57名、土地改良区、市、JA、県等関係者96名、計153名の参加がありました。

まず始めに、滋賀県彦根市フクハラファーム 代表取締役 福原 昭一 氏から、「地域農業の発展こそ我が社の繁栄」と題したご講演を頂き、その後、東北大学の伊藤 房雄 教授、ぱるファーム大曲 代表取締役 三浦吉郎 氏、イグナルファーム 専務取締役 佐藤 雄則 氏、アグリードなるせ 代表取締役 安部 俊郎 氏、JAいしのまき 営農企画課 遠山 和之 氏らを交えたパネルディスカッションを行いました。

参加者の興味を特に引いていたのは、福原氏の目指す「ICT(情報通信技術)を利用した若手農業者の育成」についてでした。パネルディスカッションにおける質疑応答の際にも、ICTを利用することに関して、福原氏に対して多くの質問が寄せられていました。

研修会の閉会后に回収したアンケートによると、今回の研修会について、89.6%の方が「大変参考になった」、または「参考になった」と回答しており、参加者の多くから高い評価を頂きました。



▲講師 福原 昭一 氏



▲伊藤教授と福原氏



▲4名のパネリスト

## 石巻市 鹿又地区農地整備事業 安全祈願祭の開催

平成25年7月25日（木），鹿又地区農地整備事業の本格的な着工に伴い安全祈願祭が開催され，河南矢本土地改良区，石巻市，地元関係者など約90人が出席しました。神事として祝詞奏上や四方祓の儀を執り行った後，石巻市長，河南矢本土地改良区理事長，工事施工会社の代表者等により鎌，鍬，鋤を用いて鍬入れの儀が行われました。その後，玉串奉奠，神酒拝戴を執り行い，関係者一同で工事の安全を祈願しました。

鹿又地区は，平成18年から基盤整備の採択にむけて推進委員会を設立し，平成22年に事業採択となり，その後，工事着工に向けた基本設計，実施設計，施工の協議を進めてきました。本年度から本格的な工事着工となり，平成25年度は70haでの区画整理工事が行われます。平成26年度以降の施工を合わせ，584.6haで区画整理・道路・用排水路等の工事が行われる予定です。

▼神事（鍬入れの儀）の様子



▼鹿又地区 農地整備施工エリア



## 東松島市 西矢本地区農地整備事業 安全祈願祭の開催

平成25年8月29日（木），西矢本地区農地整備事業の本格的な着工に伴い安全祈願祭が開催され，宮城県，東松島市，工事関係者など約90人が出席しました。祝詞奏上，四方祓の儀が行われた後，東松島市長，河南矢本土地改良区理事長，工事施工会社の代表者等により鍬入れの儀が行われました。その後，玉串奉奠，神酒拝戴が執り行われ，関係者一同で工事の安全を祈願しました。

西矢本地区は，東日本大震災で甚大な被害を受けた東松島市矢本立沼，鹿妻，南浦周辺について農業整備基盤事業が確定したもので，復興交付金事業の新規地区としては県内で初めて着工されるものです。事業としては，単なる農地復旧にとどまらず，地域農業の再構築を行い，農村復旧を目指すため1haを主体としたほ場の区画形状の拡大や用排水路の完全分離を行うとともに，住宅移転跡地の土地利用の整序化，農業施設・農業機械リース事業との調整を図りながら農地の区画整理工事を進めていき，平成27年度末の事業完了を目指しています。対象面積は208.4haで，平成25年度は10月から，128haで施工する予定です。

▼神事（鍬入れの儀）の様子



▼西矢本地区 農地整備施工エリア



## 農地・水保全管理支払交付金 第2期対策について

平成24年度から平成28年度までの5年を期間として、農地・水保全管理支払交付金 第2期対策が行われています。活動2年目となる今年度も、昨年同様、管内21組織、活動面積約3,953ha、共同活動支援交付金年度交付額87,347,150円で実施して行きます。また、今年度から、管内7組織が「農地・水・環境保全組織」に移行しました。今年度も市、関係土地改良区と連携し、活動組織の支援を進めてまいります。



### 「農地・水・環境保全組織」移行組織

- ・ 稲井東部保全隊→稲井東部保全隊(農地・水・環境保全組織)
- ・ 小船越地域保全会→小船越地域保全会農地・水・環境保全組織
- ・ 前谷地ふるさと保全会→前谷地ふるさと保全会(農地・水・環境保全組織)
- ・ 和瀬ふるさと保全会→和瀬ふるさと保全会(農地・水・環境保全組織)
- ・ 鹿又ふるさと保全会→鹿又ふるさと保全会(農地・水・環境保全組織)
- ・ 広瀬ふるさと保全会→広瀬ふるさと保全隊(農地・水・環境保全組織)
- ・ 中津山1地域保全会→中津山1地域保全会農地・水・環境保全組織

関係市	活動組織名	協定面積(ha)
石巻市	蛇田保全隊	140.0
	稲井東部保全隊(農地・水・環境保全組織)	256.8
	稲井西部保全隊	122.8
	小船越地域保全会農地・水・環境保全組織	271.9
	飯野・成田地域保全会	173.8
	二俣地域保全会	198.7
	飯野川地区保全会	164.2
	北上地区保全会	164.0
	前谷地ふるさと保全会(農地・水・環境保全組織)	243.1
	和瀬ふるさと保全会(農地・水・環境保全組織)	235.6
	鹿又ふるさと保全会(農地・水・環境保全組織)	453.1
	広瀬ふるさと保全会(農地・水・環境保全組織)	260.2
	須江ふるさと保全会	193.5
	北村ふるさと保全会	94.6
	中津山1地域保全会農地・水・環境保全組織	333.7
	中津山2地域保全隊	153.8
	橋生1地域保全会	169.4
	太田地域保全会	155.8
18組織	3785.9	
東松島市	塩入ふるさと保全会	72.2
	中下区環境保全隊	60.2
	新田地区環境保全会	34.7
	3組織	167.1
管内計	21組織	3953.0

## 田んぼの学校を実施

今年度の田んぼの学校は、農地・水保全管理支払交付金の活動組織（前谷地ふるさと保全会、北村ふるさと保全会、須江ふるさと保全会、鹿又ふるさと保全会）のみなさん、河南矢本土地改良区、石巻市と協力し、前谷地小学校、北村小学校、須江小学校、鹿又小学校で実施しました。

今年度も、小学5年生を対象に、出前講座（「田んぼの今と昔」、「農業水利施設の持つ役割について」）、土地改良施設見学会、田んぼの生きもの調査を行いました。

出前講座、施設見学で児童たちは、積極的に発言する、メモを取るなど、真剣に話を聴いていました。生きもの調査の際も、多くの生きものが身近な場所に生息していることを再認識し、元気に走り回るなど非常に楽しんで調査を行っていました。



▲北村小学校 H25. 6.27



▲前谷地小学校 H25.7.16



▲鹿又小学校 H25.8.28



▲須江小学校 H25.8.30

## 災害復旧支援の自治法派遣職員のみなさん

平成23年9月1日より、地方自治法の規定に基づき、災害復旧支援のため県外から自治法派遣職員の方々に応援に来て頂いております。

現在、当部では愛知県4名、兵庫県4名、島根県2名、岡山県3名、徳島県2名の方が応援に来ています。また、これまでに三重県、佐賀県の職員の方も応援に来られました。

当部では、自治法派遣職員のみなさんと協力し、農地・農業用施設の災害復旧業務に取り組んでまいります。



▲愛知県から派遣の職員



▲兵庫県から派遣の職員



▲岡山県から派遣の職員



▲島根県から派遣の職員



▲徳島県から派遣の職員



▲現地での復旧・復興活動の様子

一日も早い災害復旧と  
地域復興をめざして



**宮城県東部地方振興事務所 農業農村整備部**  
(編集：農村振興班)

〒986-0812 石巻市東中里1丁目4-32

Tel 0225(95)1411 (内) 489 Fax 0225(96)4880

E-mail et-ss-nos@pref.miyagi.jp

URL <http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/et-sgsin-ns/>